ハンドマイク街頭演説原稿例　志位来たる・維新と国民民主批判

二〇二五年四月八日　日本共産党埼玉県委員会・作成

　ご近所のみなさん、日本共産党です。この場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。きたる四月十二日土曜日午後二時から、ＪＲ大宮駅西口で、日本共産党の志位和夫議長を迎えての街頭演説を行います。この機会に、ぜひ日本共産党のお話をお聞きください。

　みなさん、国会では三月三十一日に、四月一日からの予算が成立しました。私たちの暮らしを支えるための予算、社会保障関係や文教費、中小企業対策費などは、増額していても物価上昇に追いつかず、実質マイナスです。ところが防衛費は前年度から１０％近く増えて８・７兆円となりました。しかも、その中身は他国の領内に直接攻撃するようなミサイルや兵器、装備が多くを占めています。これだけ軍事予算が増えれば、私たちの暮らしを支える予算にお金が回らないことは明らかではないでしょうか。さらに、法人税率の引き下げや大企業への優遇税制により、減税額は１１・１兆円まで膨れ上がるなど、巨大企業へは大盤振る舞いです。

　日本共産党は、自民党中心の政権がこれまで進めてきた政治、アメリカとの軍事同盟を絶対視してアメリカいいなりになる政治、巨大企業や超大金持ちばかり有利になる政治、この二つにメスを入れ、国民の暮らしを支える政治に改めていくことが必要だと訴えてきました。一月からの国会で行われた予算案審議でも、この立場で政府予算案の問題を示し、改善を提案してきました。医療費の窓口負担額に上限をもうける高額療養費制度の、負担上限額引き上げが凍結されたのも、患者さんなど関係者が声を上げ、日本共産党はじめ野党が国会で追及した結果です。声をあげれば政治を変えられることを示しました。

　ところでみなさん、今の石破政権の与党である自民党と公明党は衆議院で過半数に届かないため、与党だけでは予算案を可決できません。だからこそ、与党は国民民主党や日本維新の会と個別に密室協議を重ね、抱き込もうとしました。国民民主や維新の会は、国民のためにならない大きな問題点には手をつけず、ごく一部の課題で与党の妥協を引き出し、それを口実に与党の予算案に賛成することで、石破自公政権の生き残りに手を貸そうとしました。その立ち居振る舞いは、もはや野党とは名ばかりの、政権与党の補完勢力だと言わざるを得ません。

　みなさん、与党の自民・公明両党が伸びても、与党を事実上支えている名ばかり野党が伸びても、日本の政治は変わりません。ホンモノの改革を目指す党、日本共産党が伸びてこそ、政治は変わります。今年の夏には参議院選挙が行われます。衆議院に続いて、今度は参議院でも与党を少数に追い込み、国民の切実な願いを実現するチャンスです。そのためにも、日本共産党を大きくすることがどうしても必要です。日本共産党は政党を選ぶ比例代表で、はたやま和也・元衆議院議員を含む五議席の獲得、定数四の埼玉選挙区で現職の伊藤岳参議院議員の再選をかちとるため、全力で頑張ります。日本共産党と伊藤岳に、みなさんのお力をお貸しくださいますよう、よろしくお願いします。

　自民党の裏金問題を最初にスクープした、日本共産党の発行する「しんぶん赤旗」をこの機会にぜひお読みいただきますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）